# 大 使 館 便 り

第204号 令和2年3月12日 在ポルトガル日本国大使館

# 1. 牛尾大使からのご挨拶

先月の大使館便りでは1月に衛藤日本ポルトガル友好議連会長一行がポルトガルを訪問されたことについて触れましたが、2月には、ブリリャンテ・ディアス外務省国際化担当副大臣及びガランバ環境・気候変動省エネルギー担当筆頭副大臣がそれぞれ訪日し、日本政府及び日本企業関係者との意見交換を行う等、日本ポルトガル修好年における両国間の人的交流は活発化しております。

現在、各国・地域において新型コロナウイルスの感染が広がっており、ポルトガルも例外ではありません。イタリアでの感染拡大に伴い、ポルトガル政府は10日、イタリア全土ーポルトガル間の航空便の運行停止を決定した他、5000人以上の野外イベントの中止・延期を推奨する等、様々な措置をとっています。皆様におかれては手洗い、うがい、咳エチケットの徹底、なるべく人混みを避ける等の基本的な感染症対策を取り、保健総局のホームページ等からの情報収集に努めていただくようお願いいたします。大使館からもHP等を通じ、引き続き関連情報を提供してまいります。

## 2. 政治・経済関係

#### (1) 2019年12月末の公的債務残高

2月3日、ポルトガル中央銀行は、2019年12月末の公的債務残高が、2,497憶ユーロ(前年比6憶ユーロ増)と発表しました。2月20日には、2019年の公的債務残高の対GDP比が118.2% (前年比4ポイント減)であったと発表しました。

#### (2) 2019 年第 4 四半期失業率、6.7%を維持

2月5日、ポルトガル国立統計院 (INE) は、2019年第4四半期 (10-12) の失業率が、前年同期比と同じ6.7% (前期比0.6ポイント増) であったと発表しました。失業者数は35万2,400人 (前期比9.0%増;前年同期比0.9%増) で、このうち、若年層失業率 (15~24歳) は19.5% (前期比1.6ポイント増;前年同期比0.4ポイント減)の7万3,400人。男女別失業率では、男性が6.0%、女性が7.5%。また、地域別失業率では、アソーレス自治州(7.6%)、アレンテージョ地域(7.3%)、北部地域及びリスボン首都圏(7.1%)、マデイラ自治州(7.0%)、アルガルヴェ地域(6.8%)でポルトガル全土平均を上回り、中部地域(5.2%)のみが平均を下回りました。2019年通年の失業率は6.5% (前年比0.5ポイント減)でした。

#### (3) 2020年度政府予算案の最終全体採決

2月6日、2020年度政府予算案最終全体採決が行われ、与党・社会党 (PS) の賛成 108票、ポ

ルトガル共産党 (PCP) 、緑の党 (PEV) 、左翼連合 (BE) 、人と動物と自然の党 (PAN) 及び自由党 (Livre) の棄権 36 票、最大野党社会民主党 (PSD) 、民衆党 (CDS) 、リベラル主導党 (IL) 及びシェーガ党 (CH) の反対 86 票により賛成多数で可決されました。

2020年度政府予算案は3月中旬頃に公布される予定です。

### (4) レベロ・デ・ソウザ大統領のインド訪問

2月13~16日、レベロ・デ・ソウザ大統領は、インドを公式訪問しました(サントス・シルヴァ外相、ブリリャンテ・ディアス外務省国際化担当副大臣、セグーロ・サンチェス国防担当副大臣ら同行)。14日、同大統領は、大統領官邸においてコーヴィンド大統領に迎えられ、ガンディー廟で供花を行った後、首相公邸にてモディ首相及び同行閣僚らと会合に出席し、複数の覚書に署名を行いました。その後、ニューデリー市内でポルトガル人芸術家の展示開会式に出席し、ナイドゥ副大統領との会談後、コーヴィンド大統領主催の晩餐会に出席しました。15日、レベロ・デ・ソウザ大統領は、ムンバイにてインドの企業家らを招き朝食会を実施したほか、マハーラーシュトラ州知事との会談及び昼食会に出席しました。16日にはゴアに移動し、ポルトガル語で実施されたミサに出席した後、ポルトガル領インドの行政府が置かれていた旧ゴア地区を訪問し、サンタモニカ教会、フランシスコ・ザビエルの墓等を訪れたほか、パナジ在住のポルトガル人コミュニティを招いたレセプションで公式訪問を締め括りました。

#### (5) インテルカンプス社の世論調査結果-2月

2月21日、ジョルナル・デ・ネゴシオス紙は、インテルカンプス社が実施した世論調査結果を発表しました。前回調査と比べ、与党・社会党(PS)及び最大野党・社会民主党(PSD)の支持率は減少、左翼連合(BE)は第三勢力の座を維持、シェーガ党(CH)は微増、1月末に新党首を選出した民衆党(CDS)の支持率は回復しました。

政党	10月	11月	12月	1月	2月
社会党 (PS)	35. 6	34. 9	33. 9	32.8	31. 1
社会民主党 (PSD)	24.8	24. 9	25. 7	25.8	23.8
左翼連合 (BE)	10.7	10.8	10. 7	11.9	13. 3
統一民主連合 (CDU) (※)	6. 9	8. 1	6. 3	6. 2	6.3
人と動物と自然の党 (PAN)	5. 3	4.8	6. 1	6. 0	5. 4
民衆党 (CDS)	4. 4	2. 9	3. 9	1. 9	3.5
シェーガ党 (CH)	2. 5	4.8	5. 7	6. 2	6. 9
リベラル主導党 (IL)	0.8	2. 9	2. 4	2. 3	2.9
自由党 (Livre)	2. 7	2. 7	1. 1	1. 7	0.8

(※) ポルトガル共産党 (PCP)・緑の党 (PEV)

#### (6) ブリリャンテ・ディアス外務省国際化担当副大臣の訪日

2月17日~20日、ブリリャンテ・ディアス外務省国際化担当副大臣が訪日しました。同副 大臣は若宮外務副大臣と面談し、修好160周年の機会に両国の歴史的な友好関係を確認すると ともに、昨年2月に発効した日EU・EPAを活用し、経済等関係を更に強化するための意見交 換を行いました。また、同大臣は日本滞在中、日系企業関係者と会談を行いました。

#### (7) ガランバ環境・気候変動省エネルギー担当筆頭副大臣の訪日

2月24~27日、ガランバ環境・気候変動省エネルギー担当筆頭副大臣が日本を訪問しました(16の企業及び団体関係者同行)。同副大臣は、松本経済産業副大臣及び日系企業関係者と会談したほか、水素・燃料電池展(FC EXPO 2020)を視察しました。今次訪問は、二国間の政治及び経済関係を強化することを目的としました。

## (8) 欧州委員会がポルトガル経済に関する報告書を公表

2月26日、欧州委員会は、ポルトガルの経済情勢及び見通しに関する報告書を公表したところ、マクロ経済の不均衡を改善するための政策努力を引き続き実施していくことが重要であり、公的及び民間債務残高はまだ高い水準にあること等が指摘されたものの、ポルトガルの経済パフォーマンスは良好であると評価されました。

欧州委員会によるポルトガルの主なマクロ経済指標及び見通し(年率)は下表のとおりです。

	2019年	2020年	2021年
GDP成長率	2.0	1. 7	1. 7
失業率	6.3	5. 9	5. 6
インフレ率	0.3	1. 0	1. 3
経常収支	<b>▲</b> 0. 1	<b>▲</b> 0.4	<b>▲</b> 0. 7
財政収支	<b>▲</b> 0. 1	0. 1	0. 7
政府債務残高	119. 2	116. 7	113. 4

#### ★ポルトガルの 2019 年 GDP 成長率、2.2%

2月28日、ポルトガル国立統計院(INE)は、2019年の実質 GDP 成長率を 2.2%(前年比 0.4 ポイント減)と発表しました。名目 GDP では前年比 3.9%増加し、2,123億ユーロとなりました。内外需別の寄与度を見ると、内需は 2.7 ポイントのプラス寄与(前年比の 3.1 ポイントから低下)となった一方、外需(財貨・サービスの純輸出)は $\triangle$ 0.6 ポイントのマイナス寄与(同 $\triangle$ 0.4 ポイントから低下)となりました。

2019 年第 4 四半期 (10-12) 実質 GDP 成長率は 2.2% (前期比 0.3 ポイント増) となりました。

#### 3. 広報・文化関係

(報告)

●Festival de Cinema de Desporto (スポーツ映画祭) のオープニング

3月4日、当館の牛尾大使は、日本・ポルトガル修好160周年事業の一環である「Festival de Cinema de Desporto」(於:リスボン市内サン・ジョルジェ映画館)オープニングに出席しました。スポーツ映画祭実行員長、ポルトガル青年スポーツインスティトゥート会長等約40名が参加した本映画祭オープニングの席で、牛尾大使は、東京オリンピック開催年並びに修好160周年にあたり、本映画祭を通し同五輪及び日本文化の紹介の機会をいただき感謝する旨挨拶を行いました。



## ●エドアルド・コル・デ・カルヴァーリョ氏の叙勲

3月5日、在ポルトガル日本大使公邸において、令和元年秋の外国人叙勲受章者としてエドアルド・コル・デ・カルヴァーリョ氏への旭日小綬章勲章伝達式が行われました。この度の叙勲は、同氏による長年にわたる著作・講演等を通じた対日理解並びに日ポ両国間の文化交流への貢献に対し授与されるもので、式にはカルヴァーリョ氏のご家族・ご友人等約30名も参加され、受彰後和やかに歓談が行われました。



## ●椿をテーマとした木版画展「樹からの再生」レセプション

3月6日、牛尾大使は、ソアレス・ドス・レイス美術館において、椿をテーマとした木版画展「樹からの再生」のオープニングに出席しました。同展は、日本の版画家とポルト大学美術学部教授による作品展(日本・ポルトガル修好160周年認定事業)で、オープニングには、牛尾大使の他、パウラ・オリヴェイラ同美術館副館長、吉田・国際交流基金マドリード文化センター長等が参加し、セレモニーにおける挨拶を終え、来館者としばし歓談を行いました。



## ●切り紙ワークショップ

3月7日、在ポルトガル日本国大使館多目的ホールにて、国際交流基金マドリード日本文化センター主催の標記ワークショップが開催され、約15名の日本語学習者が参加しました。矢口加奈子講師は、切り紙の基本から応用の説明を行い、参加者たちは好きな漢字を選び切り紙にする等、和やかな雰囲気の中ワークショップを満喫しました。



## ●日本語で話そう! Vamos Japonicar ワークショップ

3月7日、在ポルトガル日本国大使館多目的ホールにて、国際交流基金マドリード日本文化センター主催の標記ワークショップが開催され、約15名の日本語学習者及び約10名の在住日本人が参加しました。鈴木・国際交流基金マドリード日本文化センター日本語教育専門家によるワークショップでは、4グループに分かれた参加者が福笑い・日本語ビンゴ・イベントポスター作成といった盛り沢山のゲームを行う等、参加者同士の交流を楽しみました。



## ●日本語教師会総会及セミナーの開催

3月8日、在ポルトガル日本国大使館多目的ホールにて、標記総会及びセミナーが開催され、 当国において日本語教育に従事する約20名の日本語教師が参加しました。総会では、日本語教師会の来年度の活動計画等の発表が行われ、セミナーでは篠崎・国際交流基金マドリード日本文化センター日本語教育アドバイザーによる「書くことの指導を考える」と題する講演が行われました。また、その後の懇親会では、教師会会員の親睦及び今後の日本語教育に係る活発な意見交換が行われました。



## ●広報文化班からのお知らせ

今後、当館主(共)催による日本関連イベント開催に当たり、大使館便りに加えてEメールによる招待状やイベント情報の送付を希望される方は、cultural@lb.mofa.go.jp までご連絡下さい。

## 4. 領事関係

#### (1) 新型コロナウイルス感染症について

(ア) ポルトガルでは、3月2日に最初の症例が確認され、<math>3月11日現在、<math>59例の感染例が報告されています。

(イ)新型コロナウイルスは風邪と同様にせきやくしゃみなどの飛沫で感染するとされていますので、手洗い、うがい、咳エチケットの徹底、なるべく人混みを避ける等の基本的な感染症対策につとめてください。日頃から保健総局のホームページや報道等により最新の情報を入手するようつとめてください。また、保健総局は、感染地域からの帰還者については症状の有無を注意深く観察し、症状発生時には健康相談ホットライン(SNS24)(808 24 24 24)へ電話するよう勧めています。

#### 参考

ポルトガル保健省保険総局新型コロナウイルス総合ページ

https://www.dgs.pt/corona-virus

内閣官房ホームページ

https://www.cas.go.jp/jp/influenza/novel coronavirus.html

厚生労働省ホームページ(日本語)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708\_00001.html

厚生労働省新型コロナウイルスに関する Q&A

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\_iryou/dengue\_fever
qa\_00001.html

外務省海外安全ホームページ

https://www.anzen.mofa.go.jp/

- (ウ)なお、新型コロナウイルスにかかる東洋人に対する風評被害(感染者であるかのごとく扱われる被害)等について、お心あたりのある方は、当館領事班へご連絡を下さるようお願い致します。
  - (2) 在留届に関するお願い

近年、海外で生活する日本人が急増し、このため海外で事件や事故等思わぬ災害に巻き込まれるケースが増加しています。万一、在留邦人の皆様がこのような事態に遭われた場合には、日本国大使館や総領事館は「在留届」を基に皆様の所在地や緊急連絡先又は日本国内の連絡先等を確認して援護活動を行っています。

当館でも、皆様に提出いただいた在留届により連絡先の把握を行い、大使館からの海外危険情報や広報文化活動などの情報提供、緊急時の連絡網整備、安否確認に役立てているところです。

このため、ポルトガル国内での転居、日本への帰国、他国への転出等、在留届の届け出 事項に変更が生じた後、引き続きこの大使館便りをご覧の方は、速やかにその旨を下記領事 班あてに E-mail にてご連絡下さい。

また、皆様の友人・知人で「ポルトガルに居住しているが、まだ在留届を提出していない方」がおられましたら、届出を行うようご案内下さい。

(3) 第三国出国の際の「たびレジ」登録のお願い

在留届を提出されている在留邦人の皆様は、普段は海外安全情報配信サービス「たびレジ」に登録する必要はございません。しかし、休暇、出張等、第三国にお出かけの際には、是非「たびレジ」の登録をお願いいたします。「たびレジ」に登録すると、渡航先の大使館・総領事館から、日本語で

最新の安全情報がメールで届きます。また、大規模な事件・事故、テロ、自然災害等緊急連絡のメールが届き、安否の確認や必要な支援などを受けることができます。

登録はこちら: https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/index.html

(4) 海外に住んでいても、国政選挙への投票が可能に!

在外投票を行うには、在外選挙人名簿に登録され、あらかじめ在外選挙人証を取得しておく必要があります。 在外選挙登録申請手続きについてはこちらをご参照下さい。: https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/senkyo/flow.html

# (5) 当館領事業務へのご意見募集

当館では、領事サービスの向上を図るため、皆様からのご意見を募集しています。どのような 些細な事柄でも結構ですので、ご意見・ご要望等があれば、お気軽に下記領事班あてに E-mail に てご連絡下さい。

在ポルトガル日本国大使館(領事班)

住所: Avenida da Liberdade 245-6 1269-033 Lisboa

TEL : 21-311-0560 FAX : 21-354-3975 E-mail : consular@lb.mofa.go.jp